

■ 株主優待のご案内



当社オリジナルアニメキャラクターQUO カード

3月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 2,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 3,000円分を進呈

9月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 500円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,500円分を進呈

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **3585**

いいかぶ  検索  Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信   
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

e-株主     
※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

第63期 第2四半期  
株主通信

平成20年4月1日から  
平成20年9月30日まで



## ■ 連結財務ハイライト

Financial Highlights



(単位：百万円)

### CONTENTS

連結財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
事業のご報告	3
トピックス	7
連結財務諸表	8
会社概要	9
株式情報／株主メモ	10

経営成績	第61期	第62期	第63期 (第2四半期)
売上高	15,592	14,970	7,124
営業利益	1,602	880	198
経常利益	1,601	862	239
総資産	18,666	18,960	18,180
純資産	14,786	15,008	14,774

注) 当冊子では金融商品取引法に基づく四半期報告制度の導入により、従前の中間期を第2四半期と読み替えて作成しております。

## ■ 株主の皆様へ

To Our Shareholders

私たちは、世界中のあらゆる人々に  
夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、  
豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
ここに当社グループの第63期第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の業績をご報告するにあたり、株主の皆様への平素からのご支援に対し心より感謝申し上げます。

当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高71億2千4百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益1億9千8百万円（前年同期比54.0%減）、経常利益2億3千9百万円（前年同期比47.6%減）、第2四半期純利益3千8百万円（前年同期比89.5%減）となり、前年同期比で減収減益となりました。

アニメーション事業においては、売上高、営業利益、経常利益ともに前年同期を上回りました。一方、アミューズメント事業においては、既存店舗の売上が減少し、また前期3店舗を閉鎖したことなどもあり、売上高は前年同期を下回り、営業利益、経常利益ともに前年同期を大幅に下回りました。以上の結果、全社合計では、売上高、営業利益、経常利益ともに前年同期を下回る結果となりました。また、特別損失としてシンガポールの連結子会社を清算したことによる損失1億4千2百万円を計上したことなどもあり、第2四半期純利益におきましても前年同期を大きく下回る結果となりました。

当社を取り巻く環境は大きく変化し、厳しい情勢が続いています。しかし、変化の時こそチャンスと捉え、当社の強みを再認識し、事業モデルの最適化を図りつつ経営基盤を強化して、ワールドワイドに展開するエンタテインメントカンパニーを目指して取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 岡村 秀樹

平成20年12月

## ■ 事業のご報告

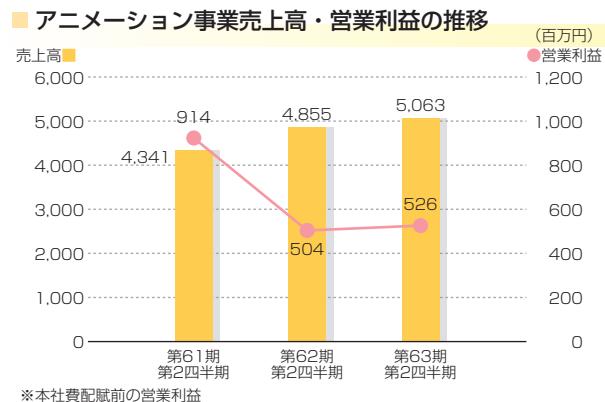
Business Operations

### ■ アニメーション事業

当第2四半期累計期間のアニメーション事業におきまして、制作収入については、TV制作収入およびコンテンツ制作収入が減少したものの劇場映画制作収入が増加したため、売上高は24億8千5百万円と、前年同期とほぼ同等となりました。

一方、ロイヤリティなどの販売収入につきましては、前年同期と比べビデオ販売市場の全体的な落ち込みに影響されビデオ販売収入は大幅に減少しましたが、海外販売収入、ネットワーク事業収入や商品化権販売収入は増加し、売上高は25億7千8百万円、前年同期比7.0%増となりました。

これらによりアニメーション事業全体の売上高は50億6千3百万円、前年同期比4.3%の増収となりました。また営業利益につきましては、5億2千6百万円、前年同期比4.4%の増益となりました。



「イタズラなKiss」  
© 多田かおる / イタキス製作委員会



「スケアクロウマン」  
© play set products / スケアクロウマン製作委員会



「全カウサギ」  
© イケダケイ / メディアファクトリー・全カウサギ製作委員会



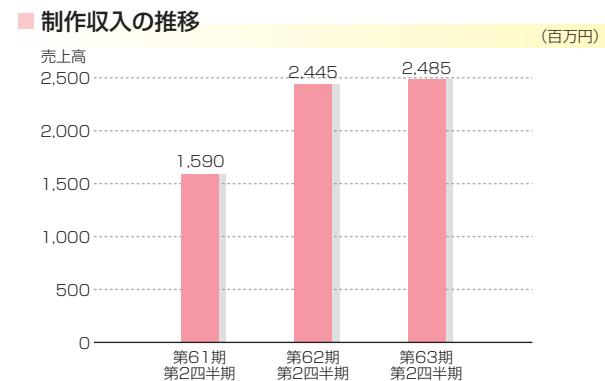
「それいけ! アンパンマン 妖精リンリンのひみつ」  
© やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV  
© やなせたかし / アンパンマン製作委員会2008

### 制作収入

近年テレビを取り巻く環境が大きく変化し、アニメーション業界は、視聴率の低下や、テレビ広告の落ち込みの影響を大きく受けています。人気アニメ番組でも視聴率が軒並み下がっており、スポンサーが付きにくい状況がテレビ業界全体で起きているため、アニメーション制作事業にとっては厳しい情勢が続いています。

当第2四半期累計期間において、TVシリーズにつきましては、人気番組「それいけ! アンパンマン」「名探偵コナン」の他、「イタズラなKiss」「スケアクロウマン」「全カウサギ」などの作品を、またTVスペシャル「ルパン三世 sweet lost night～魔法のランプは悪夢の予感～」、劇場作品「それいけ! アンパンマン 妖精リンリンのひみつ」や「真救世主伝説 北斗の拳 ZERO ケンシロウ伝」などといった作品を制作しました。

当社は今後とも、業界トップクラスの制作能力を生かしつつ、さらなるクオリティの強化を図り、優良な作品の制作に取り組んでまいります。



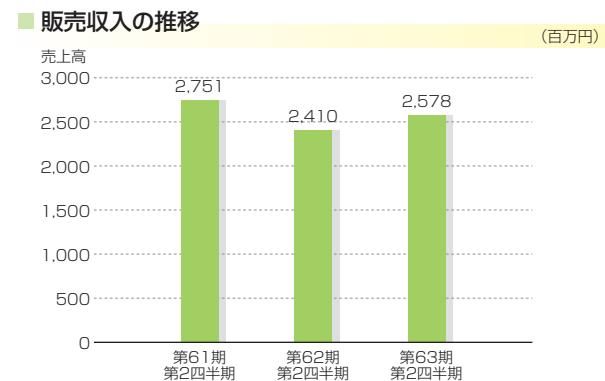
### 販売収入

ここ数年DVD販売市場は伸びが一段落し、最近では縮小に転じて、厳しい局面を迎えています。DVD販売はアニメプロダクションの売上の多くの部分を占めているため、市場の縮小はアニメーション業界全体に大きな影響を与えています。

当第2四半期累計期間において、販売収入のうちビデオ販売の収益は大幅に減少しました。しかし、商品化権販売は堅調に推移しており、またネットワーク事業の拡大などにより、販売収入全体では前年同期と比べて増収となりました。

なお、海外においては「爆丸 バトルブローラーズ」が好調で、アメリカ、カナダ、韓国他アジア各国において、玩具とともに高い評価を得ています。

当社は、保有する数多くの有力なコンテンツを生かし、また新たなアニメーション作品を次々と生み出しながら、今後収益窓口の多角化を図ってまいります。



## ■ 事業のご報告

Business Operations

### ■ アミューズメント事業

当第2四半期累計期間のアミューズメント事業におきましては、店舗設備の改装を進めるなど収益力の強化を図ったものの、経済状態の悪化により消費が冷え込み、施設市場全体が落ち込んだ影響を受け既存店舗の売上高は減少し、また前期3店舗を閉鎖したことによる減少要因もあり、当事業の売上高は20億6千1百万円、前年同期比17.5%の減収となりました。また営業利益につきましては、2千2百万円、前年同期比93.1%の減益となりました。

近年のアミューズメント施設業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。市場全体の売上高は減少傾向にあり、また全体の店舗数も減少が続いています。一方で家庭用ゲーム機や携帯電話、インターネットなど、娯楽の多様化による影響を大きく受けており、さらに消費の冷え込みの影響も受けています。

厳しい情勢が続いておりますが、競争力の強い店舗は引き続き堅調に推移しており、今後事業全体の収益性を改善し、より収益率の高い構造へと事業基盤を強化してまいります。



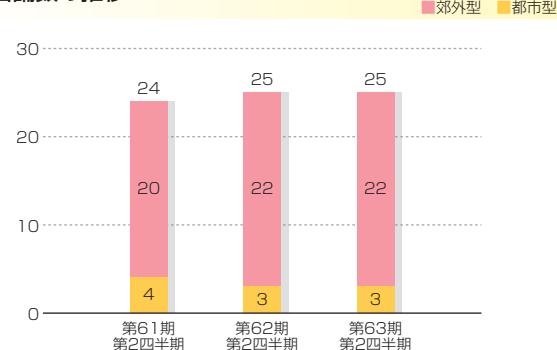
AGスクエア石岡店

#### ■ アミューズメント事業売上高・営業利益\*の推移



\*本社会費配賦前の営業利益

#### ■ 店舗数の推移

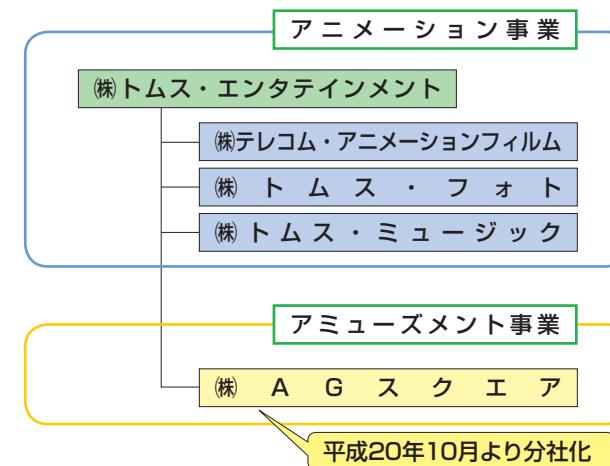


### ■ アミューズメント事業部門の分社化について

平成20年10月、意思決定の迅速化と経営効率の向上のため、アミューズメント事業を分社化し、株式会社AGスクエアとして事業を開始いたしました。

アミューズメント事業は、株式会社ゲオへ譲渡することが予定されておりましたが、同社から合意解約の申し入れを受け、事業譲渡契約は解消いたしました。

今後当社は、アニメーション事業を柱として展開しつつ、企業グループとしてアミューズメント事業を継続し、運営してまいります。



### ■ 全社の通期見通し

ビデオ販売市場全体の落ち込みやアミューズメント施設市場全体の落ち込みなど厳しい経営環境が続いており、通期の連結業績見通しは右表のとおり見込んでおります。

このような状況の中、当社は来期以降の収益改善と今後の成長に向けて、これまで培ってきた強みを生かしながら、収益構造の変革に取り組んでまいります。

アニメーション事業については、今後、ワールドワイドに展開できるエンタテインメントカンパニーを目指し、アニメーション関連の川上から川下まで幅広くビジネスを展開し、収益窓口の多角化やターゲットの拡充などを通じて、収益性の向上に努めてまいります。

アミューズメント事業については、不採算店舗の閉鎖と優良店舗への積極投資、店舗運営の効率化を進め、運営基盤を強化してまいります。

通期見通し	
売上高	14,110 百万円
営業利益	280 百万円
経常利益	310 百万円
当期純利益	40 百万円

## トピックス

Topics

### 「アンパンマンデジタルLLP」が設立

今年6月、「それいけ! アンパンマン」のデジタルコンテンツならびにそのサービス提供の拡充に向けて、株式会社フレーベル館、日本テレビ放送網株式会社との3社共同出資により、「アンパンマンデジタルLLP (有限責任事業組合)」が設立されました。今後、さらなるアンパンマンのブランディングと新規市場開拓を図ってまいります。



「アンパンマンポータルサイト」  
http://anpanman.jp  
© やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV  
© アンパンマンデジタルLLP

### 「ライブオン CARDLIVER翔」が10月より放送開始

本年10月5日(日)より、テレビ東京をキー局に「ライブオン CARDLIVER翔」の放送がスタートしました。本作は、ポプラ社が新たに展開するトレーディング・カード・ゲーム「ライブバトルカード ライブオン」と連動して展開され、キャラクター・ビジネスの拡大が期待されています。



「ライブオン CARDLIVER翔」  
© ポプラ社 / カードライバー翔製作委員会・テレビ東京

### 「ルパン三世」をテーマにしたアトラクションが登場

平成21年春、東京ドームシティの新施設に、世界初の「ルパン三世」をテーマにしたウォークスルー型アトラクション「ルパン三世～迷宮の罠～」が登場します。当社はこうした新しい取り組みを積極的に行いながら、さらなる「ルパン三世」ブランドを構築してまいります。



ルパン三世  
迷宮の罠

「ルパン三世～迷宮の罠～」  
© モンキーパンチ / TMS・NTV

### 「爆丸 バトルブローラーズ」が海外にて好調

「爆丸 バトルブローラーズ」は、今年2月に全米No.1キッズチャンネル「カートゥーン・ネットワーク」で放送が開始されるなど、玩具とともに海外へ広く展開し、高い評価を得ています。これを受けてシリーズ第二弾の製作が決定し、来春北米にて放送を開始する予定です。



「爆丸 バトルブローラーズ」  
© SEGA TOYS / SPIN MASTER / BAKUGAN PROJECT・テレビ東京・電通

## 連結財務諸表

Financial Statements

### ■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成20年9月30日現在	前連結会計年度末 平成20年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	11,091	12,585
固定資産	7,088	6,375
有形固定資産	3,784	3,217
建物及び構築物(純額)	1,985	1,686
その他(純額)	1,798	1,531
無形固定資産	217	206
投資その他の資産	3,087	2,950
資産合計	18,180	18,960
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	2,598	3,481
固定負債	808	470
負債合計	3,406	3,952

<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	14,687	15,056
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	5,120	5,398
自己株式	△1,055	△965
評価・換算差額等	14	△109
新株予約権	71	62
純資産合計	14,774	15,008
負債純資産合計	18,180	18,960

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

注) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しています。従いまして、当四半期連結財務諸表と前中間連結財務諸表とでは、作成基準が異なるため前年比較に関する情報は参考として記載しています。

### ■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	(ご参考) 前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	7,124	7,353
売上原価	5,989	5,882
売上総利益	1,135	1,471
販売費及び一般管理費	936	1,039
営業利益	198	431
営業外収益	55	53
営業外費用	14	27
経常利益	239	457
特別利益	3	155
特別損失	191	67
税金等調整前四半期純利益	51	545
法人税、住民税及び事業税	38	290
法人税等調整額	△26	△117
四半期純利益	38	371

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	(ご参考) 前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	21	1,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	9	△629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477	△333
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△435	363
現金及び現金同等物の期首残高	4,921	5,035
新規連結に伴う現金及び同等物増加	—	70
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,486	5,468

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 会社概要 (平成20年10月1日現在)

Corporate Profile

## ■ 会社概要

**商号** 株式会社 トムス・エンタテインメント

**設立** 昭和21年10月

**資本金** 88億1,686万円  
(名古屋証券取引所市場第二部上場)

**従業員数** 307名(連結)

**事業内容** **アニメーション事業**  
アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出

**アミューズメント事業**  
アミューズメント施設の企画・開発・運営

**事業所** **本社**  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿三丁目2番4号  
TEL: 03-5325-9111  
FAX: 03-5325-1511

**制作本部 制作スタジオ**  
〒164-0002  
東京都中野区上高田五丁目39番1号  
TEL: 03-3319-1131  
FAX: 03-3319-1140

**主な子会社** 株式会社 AGスクエア  
株式会社 テレコム・アニメーションフィルム  
株式会社 トムス・フォト  
株式会社 トムス・ミュージック  
TMS ENTERTAINMENT USA, INC.  
TMS MUSIC (UK) LTD.  
TMS MUSIC (HK) LTD.

## ■ 取締役および監査役

**取締役会長** 里見 治

**代表取締役社長** 岡村 秀樹

**専務取締役** 松元 理人

**常務取締役** 山田 克博

**取締役** 吉田 諭司

**取締役** 鶴谷 誠

**取締役** 竹崎 忠

**取締役** 西田 浩

**常勤監査役** 石井 正

**監査役** 平川 壽男

**監査役** 田中 克郎

**監査役** 上瀧 雄一郎

## ■ ホームページのご案内



© やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV

**ホームページアドレス:** <http://www.tms-e.co.jp/>

当社ホームページでは、当社制作のアニメーション作品紹介の他、投資家の皆様への情報を掲載しております。是非ご覧下さい。

# 株式情報 / 株主メモ (平成20年9月30日現在)

Stock Information

## ■ 株式の状況

**発行可能株式総数** 121,000,000株

**発行済株式の総数** 44,153,101株

**株主数** 4,041名

## ■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
セガサミーホールディングス(株)	23,549	56.19
日本テレビ放送網(株)	2,000	4.77
ユービーエスエージーロンドンアカウントアイピービーセグリゲイテッドクライアントアカウント	1,427	3.40
中部証券金融(株)	354	0.84
柴田 渉	210	0.50
代永 衛	203	0.48
田井 謙吉	182	0.43
三津 久直	175	0.41
辻野 幸雄	150	0.35
(株)ソノコ	150	0.35

※当社は、自己株式2,246,842株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

## ■ 株主メモ

**上場取引所** 名古屋証券取引所市場第二部

**事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月

**基準日** 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日

**公告方法** 電子公告にて当社のホームページ  
(<http://www.tms-e.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

**株主名簿管理人** 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## ■ 株式分布状況



**同連絡先** 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

**同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

### 【株式に関する手続き用紙のご請求について】

株式に関する手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご留意ください。

TEL: 0120-244-479 (通話料無料)  
インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>